

研究課題

エリスロポエチン製剤より HIF-PH 阻害薬に変更した透析患者への影響

1. 研究の意義と目的

腎性貧血に対してこれまでは、エリスロポエチン製剤と呼ばれる注射薬で治療してきました。2019年にHIF-PH阻害薬という新しい機序の薬剤が発売され、内服薬でも治療することができるようになりました。今回は、注射薬（エリスロポエチン製剤）から内服薬（HIF-PH阻害薬）に変更となった透析患者さんにおいて、変更後にどのような影響があらわれたのかを確認するために本研究を計画いたしました。

① 調査データ該当期間

2020年7月1日～2021年12月31日

② 対象者

当院にて注射薬（エリスロポエチン製剤）から内服薬（HIF-PH阻害薬）に変更となった透析患者さん。

③ 研究方法

研究対象者となる方の診療録より抽出した情報を使用させていただきます。個人情報には削除した上で匿名化し、個人情報が漏出しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

2. 情報の保護・廃棄

本研究に使用する情報は東北医科薬科大学 若林病院薬剤部内で厳重に取り扱います。なお、調査結果は個人を特定できない形で論文等にて発表させていただきます。また、研究終了後は、診療録以外の情報は速やかにシュレッダーで裁断し廃棄します。

不明な点がございましたら下記までお問い合わせください。

本研究に資料を提供したくない場合は2022年11月30日までにお申し出ください。

お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

お問い合わせ先

〒984-8560

仙台市若林区大和町2-29-1

TEL: 022-236-5931

東北医科薬科大学 若林病院 薬剤部
佐藤 伸輔